

令和5年度 公益社団法人大阪介護福祉士会

介護教員講習会

当会は介護サービスを担う人材の育成は、重要な課題と捉えています。

福祉サービス利用者の生活支障や多文化共生社会等を見据え、対応できる介護福祉士養成教育を担う介護教員を育成することは、専門職能団体として大変重要な責務であると考えています。

本講習会は、厚生労働大臣が別に定める基準（平成13年厚生労働省告示第241号。以下「基準告示」という。）別表に定めるすべての科目について講習同表に定める内容以上の講習会を適切に行うことによって介護教員の資質向上と適切な教育方法を伝えることを目的に開催します。

1. 研修期間 令和5年9月8日（金）～令和6年3月17日（日）

2. 会場 大阪府社会福祉会館（〒542-0012 大阪府中央区谷町7丁目4-15）

3. 対象者

1) 介護福祉士養成施設等において、

- ・専任教員であって領域ごとの科目編成等を行う方
- ・専任教員であって「介護」の科目を教授する方
- ・専任教員であって教務に関する主任者になることを予定している方
- ・今後職場等において外国人を含めた介護人材の育成を担う方

2) 介護福祉士又は社会福祉士、看護師、保健師、助産師、医師の資格を取得した

後、5年以上実務に従事して介護教員を目指す方（大阪介護福祉士会会員を優先する）

※介護福祉士の方は介護福祉士実習指導者講習会を修了していること。

（受講申込み時点において教員として勤務されている方除く）

※大阪介護福祉士会・他県介護福祉士会正会員とは、入会手続き及び会費納入が完了している方（期日：令和5年8月末日まで）

4. 受講定員 15名 申込期限 令和5年8月14日（月）必着

5. 応募方法 申込書に必要事項記入のうえ、初めて本講習を受講する方は①の課題を提出してください。当会主催の本講習会を過去に受講した方、前年度より継続受講の方は②の課題を提出してください。

① 「介護教員講習会受講動機と受講後の介護教育への決意」

② 「これから（未来）の介護福祉士に必要な専門性」

自身の考えを800字以上1000字以内（文字数記入要）で論じたものを提出してください。（手書きで作成、名前必須）

※介護福祉士養成施設において教員として従事する方は、養成施設の長からの推薦を必要とします。（書式は問いません。）

6. 受講 講 受講科目および受講料は申込書を参照してください

7. 科目ごとの評価と証明書の発行

1) 評価について

講習会の受講者は科目ごとに定められた時間数を全て受講し、修了のための評価を受けなければなりません。評価は、筆記試験、レポート、課題の提出、演習等の応答によるもののほか、受講態度、演習課題に取り組む姿勢などを併せて総合的に行います。

2) 科目履修証明書について

「介護教員講習会履修証明書」は、基準告示に基づく「介護教員講習会修了証」の交付を受けるために必要となるものなので、大切に保管してください。

8. 専門分野の各科目にかかる目標について

科目	目標
介護福祉学	介護及び関連する学問領域から幅広く、介護と人間生活について学び、介護福祉士の専門性についての理解を深める。
介護教育方法	教育方法の理論を基礎として、介護福祉教育における具体的な教授・学習活動について理解する。
学生指導・カウンセリング	学生指導・カウンセリングの理論や方法について学ぶ。
実習指導方法	介護教育における実習の意義及び実習指導に当たる教員・実習指導者の役割を理解し、効果的な実習指導方法を修得する。
介護過程の展開方法	介護実践のためのアセスメント、計画立案、実施、評価について、演習における具体的展開方法を学ぶ。
コミュニケーション技術	人間関係におけるコミュニケーション技術について学ぶ。
研究方法	研究の意味を理解し、研究の方法と種類、進め方等を修得する

9. 履修認定について

基準告示に基づく「介護教員講習会修了証」の交付を受けるためには、**13科目300時間の受講が必須です**。ただし、次に該当する場合は、科目の履修認定（受講免除）を受けることができます。

※履修認定を受けようとするものは、申込時に履修認定証明書を提出してください。受講可の方には履修の可否を決定しその旨決定通知と共に郵送します。受講不可の方には書類を返却します。

対象者	免除の内容
大学、大学院若しくは短期大学等又は当該講習会以外の講習会において、基礎分野及び専門基礎分野に係る科目の内容と同等以上の内容を有すると講習会を行う者が認める科目を修めた者	基礎分野及び専門基礎分野のうち、当該科目の履修を免除
厚生労働省が認定した「看護教員講習会」受講修了者	基礎分野及び専門基礎分野の履修を免除
全国社会福祉協議会中央福祉学院の「介護福祉士養成施設介護担当教員特別研修課程」受講修了者	専門分野のうち、「介護教育方法」の履修を免除
講習会において、専門分野に係る科目を教授する者又は教授したことがある者（介護教育方法、実習指導方法又は介護過程の展開方法のいずれか1科目を教授した者については、これら3科目全て教授したものとみなす。）	専門分野のうち、当該科目の履修を免除
平成15年4月1日以前に大学院において、介護福祉士養成施設において担当する科目に関連する分野に係る博士の学位を授与された者その他の者であって厚生労働大臣が認める者	講習会の課程の全部の履修を免除

10. 受講決定及び受講料納入方法（※よくお読み下さい）

1) 受講決定について

- ①大阪介護福祉士会会員であり、且つ本会主催研修や活動などに積極的に参加している方を優先に受講決定します。
- ②受講決定者には受講決定通知書と必要書類等同封します。受講不可の者にはその旨郵送します。

2) 受講料の納入方法について

- ①受講料の納入方法は、受講決定通知書に記載しています。受講決定通知をよくお読みいただき、支払期日までにお支払いください。
なお、お支払いが確認できない場合、受講日当日でも受講をお断りする場合がありますので、くれぐれもお気を付けください。

②振込み手数料等は受講生各自の負担となります。

3) 受講のキャンセルの方法（要確認）

受講をキャンセルされる場合は、原則として、本会に対して、文書または電子メールにてキャンセルする旨をご通知ください。キャンセル通知を確認後、本会より、電話または電子メールにて確認のメールをお送りします。ただし、一度お支払いいただいた受講料は、いかなる理由であっても返金致しません。あらかじめご了承ください。

問合せ・申込先

公益社団法人 大阪介護福祉士会 事務局

〒542-0012

大阪府大阪市中央区谷町七丁目4番15号 大阪府社会福祉会館内

TEL：06-6766-3633 FAX：06-6766-3632

Eメール：info@kaigo-osaka.jp

公益社団法人 大阪介護福祉士会 令和5年度 介護教員講習会受講申込書

記入日：西暦 年 月 日

※申し込みは郵送のみ受付。記載内容は手書きにてすべて記入必須

1. 受講申込者

フリガナ 氏名			会員の有無（□に✓を入れてください）
現住所 （自宅）	〒		□ 大阪介護福祉士会会員 会員 _____
生年月日	S・H	年 月 日	□ 当法人賛助会員法人番号 _____ 法人名 _____
TEL/FAX			□ 他都道府県介護福祉士会会員 都道府県名 _____
E-mail			会員番号 _____
勤務先			□ 非会員
現職名			
介護教員 経験年数	□ 常勤（ ）年 □ 非常勤（ ）年	所有資格	
勤務先 所在地	〒		TEL/FAX
本講習会受講要件に係わる資格 及び 実務経験年数（□に✓を入れ、年数を記入して下さい）			
□介護福祉士（ ）年 □医師（ ）年 □看護師（ ）年 □保健師（ ）年 □助産師（ ）年 □社会福祉士（ ）年			
所持資格職能団体名			会員番号

2. 受講申込科目

	科目	時間数	受講料(該当会員に○をしてください)				受講申込 (該当金額記入)
			ファーストステップ研修修了者 (大阪開催分)	本会正会員	当会法人賛助会員 他県正会員	非会員	
基礎分野	社会福祉学	30	22,000円	26,000円	32,000円	38,000円	
	法学	30	22,000円	26,000円	32,000円	38,000円	
専門基礎分野	教育学	30	22,000円	26,000円	32,000円	38,000円	
	教育方法	15	11,000円	13,000円	16,000円	19,000円	
	教育心理	30	22,000円	26,000円	32,000円	38,000円	
専門分野	教育評価	15	11,000円	13,000円	16,000円	19,000円	
	介護福祉学	30	22,000円	26,000円	32,000円	38,000円	
	介護教育方法	30	22,000円	26,000円	32,000円	38,000円	
	学生指導・カウンセリング	15	11,000円	13,000円	16,000円	19,000円	
	実習指導方法	15	11,000円	13,000円	16,000円	19,000円	
	介護過程の展開方法	15	11,000円	13,000円	16,000円	19,000円	
	コミュニケーション技術	15	11,000円	13,000円	16,000円	19,000円	
	研究方法	30	22,000円	26,000円	32,000円	38,000円	
合計			220,000円	260,000円	320,000円	380,000円	※

※合計金額を記入

倫理綱領

1995年11月17日宣言 前文

私たち介護福祉士は、介護福祉ニーズを有するすべての人々が、住み慣れた地域において安心して老いることができ、そして暮らし続けていくことのできる社会の実現を願っています。そのため、私たち日本介護福祉士会は、一人ひとりの心豊かな暮らしを支える介護福祉の専門職として、ここに倫理綱領を定め、自らの専門的知識・技術及び倫理的自覚をもって最善の介護福祉サービスの提供に努めます。

（利用者本位、自立支援）

1. 介護福祉士は、すべての人々の基本的人権を擁護し、一人ひとりの住民が心豊かな暮らしと老後が送れるよう利用者本位の立場から自己決定を最大限尊重し、自立に向けた介護福祉サービスを提供していきます。

（専門的サービスの提供）

2. 介護福祉士は、常に専門的知識・技術の研鑽に励むとともに、豊かな感性と的確な判断力を培い、深い洞察力をもって専門的サービスの提供に努めます。

また、介護福祉士は、介護福祉サービスの質的向上に努め、自己の実施した介護福祉サービスについて、常に専門職としての責任を負います。

（プライバシーの保護）

3. 介護福祉士は、プライバシーを保護するため、職務上知り得た個人の情報を守ります。

（総合的サービスの提供と積極的な連携、協力）

4. 介護福祉士は、利用者に最適なサービスを総合的に提供していくため、福祉、医療、保健その他関連する業務に従事する者と積極的な連携を図り、協力して行動します。

（利用者ニーズの役割）

5. 介護福祉士は、暮らしを支える視点から利用者の真のニーズを受けとめ、それを代弁していくことも重要な役割であると確認したうえで、考え、行動します。

（地域福祉の推進）

6. 介護福祉士は、地域において生じる介護問題を解決していくために、専門職として常に積極的な態度で住民と接し、介護問題に対する深い理解が得られるよう努めるとともに、その介護力の強化に協力していきます。

（後継者の育成）

7. 介護福祉士は、すべての人々が将来にわたり安心して質の高い介護を受ける権利を享受できるよう、介護福祉士に関する教育水準の向上と後継者の育成に力を注ぎます。